

令和6年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
施設名	日向市障害者センター	指定管理者名	特定非営利活動法人 日向市障害者団体連絡協議会
所管課	福祉課	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

自己評価 (指定管理者が記載)	施設の利用状況については、総合的に比較してみると、令和3年度（利用件数 698件、うち障がい者数185名、利用者数5,676名うち障がい者数504名）令和4年度（利用件数 936件、うち障がい者数238名、利用者数7,678名うち障がい者数835名）令和5年度（利用件数 1,076件、うち障がい者数221名、利用者数10,227名うち障がい者数1,055名）令和6年度（利用件数 1,040件、うち障がい者数187名、利用者数10,603名うち障がい者数804名）であり、令和5年度、6年度の利用者数の実績が横ばい状況であり、これが上限だと推察される。推察の根拠として、利用駐車場の台数が身障者用を含めて20台であり、昨年度においては、台数の関係から利用をお断りした経緯がある。また、継続して使用されている団体においては、施設から100m程離れた北側に位置する鉄道高架下の未舗装駐車場を利用することに協力され、施設利用の際は、積極的に当該駐車場を利用されている現状である。 なお、年間利用者数が10,000名という状況ではあるが、障がい者の利用者数は前年度比較では減少しており、これまでの施設利用者である障がい者が高齢化、ADLの低下により影響が出ているのではないかと懸念している。 利用者アンケートへの対応として、①交流室前の利用ルールを土足から上履きへ変更並びに簡易下駄箱の追加 ②ブラインドの清掃（施設内全て）を職員自らが対応するとともに、鉄道高架下駐車場の草刈り伐開、駐輪場木部の塗り替えも職員自ら施工することで、施設管理とともに、職員の施設管理に対する意識改革を目指した。（令和7年度が始まり、職員自らが既にブラインド清掃、施設内展示物の配置並びに模様替えを行うなどの効果が見られている。） 5年間の指定管理は、令和7年度が最終年度であり、令和6年度からの2か年、施設管理を他人事でなく我が事として実行しつつ、利用者への配慮も、もう一度、見つめ直すものとしている。
--------------------	--

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
① 利用 状況 ・ サー ビス 向上	施設（サービス）の利用状況	利用者数が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	A	B	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	B	B	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	A	B	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。（自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理 能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	B	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	A	B	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	A	B	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができていないか。	B	B	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員の訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地
	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	個人情報保護マニュアル等、実地
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、実地
	②の総括		B	B	
③維持管理・経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	A	B	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。（利用料金、委託料等の実績）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	C	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	A	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	③の総括		B	B	
総合評価		①、②、③の総括による総合評価	B	B	

※総合評価の理由	協定書および仕様書に基づき適切な運営が行われており、館内外ともに整然かつ清潔に管理されていることから、全体的に良好な状態が認められました。障害者センターの利用者数については、広報紙「あいとびあ通信」（年2回）の発行、ホームページや施設内掲示板を効果的に活用し、センターの周知に努め、昨年度を上回る10,600人を超える実績となっています。 自主事業については、まちなみ点検や運営検討委員会などを実施しているところではありますが、さらに、障害者センターの利用促進を図るため、センターの設置目的に適合した魅力のある自主事業の企画及び実施に努めていただきたいです。
※特記事項 (成果・課題等)	施設利用者数は、令和5年度・6年度ともに1万人を超え、高い利用実績を維持しています。また、利用者アンケートを活用し、職員が自ら施設管理や清掃、環境改善に積極的に取り組むことで、現場の意識改革やサービス向上にも成果が見られます。 一方で、障がい者利用者数は減少しており、利用者の高齢化やADLの低下が影響している可能性があるため、今後は支援策や利用促進策の検討が必要です。 指定管理の最終年度を迎えるにあたり、これまでの運営を振り返り、利用者への配慮や施設管理の在り方を改めて見直すことが重要です。

※総合評価の理由及び特記事項（成果・課題等）は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	A（優良）＝協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた B（良好）＝協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた C（課題含）＝協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった D（要改善）＝協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった
	総括	A（優良）＝評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である B（良好）＝評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である C（課題含）＝評価基準が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている
	総合評価	A（優良）＝総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある B（良好）＝総括が全てB以上である C（課題含）＝総括が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている